

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和2年1月10日 NO.54

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

迎春

令和二年「庚子(かのえね)」に因んで

新たな信念をもってスタートする年

令和2年の元旦はうっすらと白雪が広がる穏やかな晴天で明けました。

今年の干支は、庚子(かのえね)で60の中37番目です。

庚(か)は十干の第七にして陽、五行は金性の陽、方位は西。季節は初秋。「庚」とは、「かわる」「つなげる」を象意し、結実の後に転身することを意味する。

子(ね)は十二支の1番目で陽。五行は水気の陽、方位は北、季節は旧暦11月。十二支は最初の「子」で種子の中に新しい生命が兆し始める状態を示す。「子」を鼠(ねずみ)に当てねずみ算のように子孫繁栄を願い、神話に「大国主命が鼠に助けられた」とあることから、鼠は「大黒天」の使いとして五穀豊穣や実り、財力の意味を持つようになった。

「庚」と「子」は、五行で金と水の陽で「相生」の関係となる。相生とは、お互いを生かし、相手を強める影響をもたらす。

以上をまとめると、確実に進め結実した物事を新規に発展させ、新たにスタートすることが肝心である。その意味で、今年は「新たな信念をもってスタートする年」としたい。

今年も、激動の年の予感。

中国習近平平の国賓来日による日米関係への影響。東京オリンピック開催。五輪閉会後の景気への反動。英のEU離脱。消費税増税影響による景気の低迷。憲法改正と衆議院解散。日米貿易協定が発効し、米国産牛肉の関税率が一気に下がった。日本の農業は荒波にさらされる事は必至。株の格言に「・・・申酉騒ぐ、戌笑い、亥固まる、子は繁盛・・・」とある。景気も良くなり、新しい物事も運気のサイクルの始まる年となるか。

入江町政1期目最終コーナーを回った。成果が問われる。方向転換も含め課題解決に英知結集が必至だ。

私も、持てる力を充分に発揮し政策提言と諸々の課題解決に取組みますので、格段のご指導を宜しくお願い申し上げます。

なにがどうなる

12月定例会条例改正など

おもなもの

<職員給与の改定>

- 1) 棒給表・・・総合職初任給 1500 円、一般職初任給 2000 円、その他 400 円（平均改定率 0.1 %）
- 2) ボーナス・・・0.05 月の引上げ（⇒4.5 ヶ月分）
- 3) 住居手当・・・下限額（12000 円→16000 円）、上限額（27000 円→28000 円）

<過疎地域自立促進計画の変更>

区分	事業名（施設名）	事業内容
高齢者保健福祉	高齢者福祉施設	・自立支援型グループホーム整備事業（各トイレの洋式化）
教育の振興	集会施設・体育施設など	・社会教育施設整備事業（ 〃 ）
	その他	・地区基幹・山村開発センター等整備事業

<町教育委員の任命同意> ふじわらかずのり 藤原和則さん（上豊松） 任期：4年

<町農業委員会委員の選任同意> 14名の皆様方が選任されました。（明細はHPをご覧ください）

<町固定資産評価委員の選任同意> 4名の皆様方が選任されました。（ 〃 ）

*ご活躍を、お祈りいたします。（農業委員・評価委員さんの任期は3年です）

令和元年12月一般会計補正予算

（単位：万円）四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	3	8669	
総務費	1633	23億9926	チャレンジ基金交付金580（ふるさと納税）、自治会交付金100（ふるさと納税）、かがやきネット工事500、マイナンバー備品70
民生費	1779	18億9214	高齢者福祉施設修繕188、障害児通所サービス400、医療扶助300、保育料無償化対策138
衛生費	-▲42	12億2157	簡易水道繰出し経費▲174、職員人件費103
農林水産費	3215	10億6594	182ステーション改修工事2779、神石肥育センター修繕49、地籍調査167
商工費	4	1億1295	
土木費	411	4億0802	殿敷住宅ホーリング339、町道認定道路台帳整備492、時安線▲445
消防費	194	4億4897	消防団報酬・備品80、災害対策37
教育費	561	7億7038	幼稚園就園補助303、通学定期75
災害復旧費	765	14億6582	過年度発生農地2240、過年度発生教育施設▲1472
公債費		12億9587	
諸支出金		4億7923	
予備費		4000	
合計	8523	116億8684	

12月補正予算

○182ステーション改修工事

- ・高原の風関連 2255.5万円（工事費 1900万円）
- ・産直市場休業補償 105万円
- ・仮店舗レンタル補償 333万円

- チャレンジファンド運営事業交付金（ふるさと納税）580万円
- 自治振興会活動補助交付金（ふるさと納税）100万円
- 保育料無償化対策138万円
- どんぐり幼稚園 *保育料無償化対策に準じ303万円

<歳入>

- ふるさと納税応援寄付金
- ・自治振興会支援 100万円（補正後200万円）
- ・チャレンジ基金事業 50万円（補正後100万円）
- ・ふるさと起業家支援 540万円（補正後600万円）
- ・ふれあいタクシー支援 40万円（補正後50万円）

平成31年・令和元年度予算会計別総括表

単位:万円(四捨五入)

会計名	令和元年度		
	12月補正	12月補正後予算	適用
一般会計	8523	116億8684	
特別会計計	2880	37億5134	
病院事業会計		5億1454	
合計	1億1403	159億5272	
特別会計+病院事業会計	2880	42億6588	

○介護保険特別会計
・基金造成積立金166.1万円

○簡易水道特別会計
・施設維持管理 (高蓋地区工事請負など)1096万円

○農業集落排水特別会計
・施設維持管理 (殿敷住宅など) 7496万円

補正予算質問

企業誘致は地元の理解が最優先

木野山 企業誘致目的で水源確保に900万円の補正予算措置が成されているが地元で説明し同意を得るのが先ではないか。

森重副町長 地元の理解が最優先だ。誘致と地元説明は同時進行で行う。環境問題もあり誘致は慎重にやりたい。

木野山 納得できる説明が無いと予算は認められない。

瀬尾産業課長 地域抜きでは考えていない。ただ、誘致企業の信頼を得るためには、予算根拠が必要だ。担当課としては根拠をもって進めていきたい。

入江町長 交渉において議会承認があれば強い意思表示を相手に伝えられる。当然、地元の理解が得られなければ事業執行しない。

木野山 予算措置が無いと交渉が上手くいかないというのは詭弁だ。とにかく、地元優先で、地元の理解を得てからだ。

道の駅リニューアル

木野山 道の駅の改修においては、高原の風リニューアルも当初予算に組まれていたが、この度追加補正された。経緯は。

瀬尾産業課長 平成30年度予算で計上していたが物価高騰で予算不足となり高原の風部分が執行できなかった。

木野山 しっかりとした設計を基に執行された。

この度、産直市場は仮オープンされたが、機能的・戦略的な観点から、本格オープンまでに、北側の空きスペースの有効活用など改修すべき箇所が幾らかある。どう対応するのか。

瀬尾産業課長 追加補正予算の範囲内で、北側部分の駐車場としての整備、国道から見えるように上部壁への看板設置など検討したい。

国・県事業の財源確保

木野山 マイナンバー制度に伴いこの度タブレットなど備品を購入するが、国費部分は僅かで殆ど一般財源だ。財源確保のため国や県と交渉すべきだ。

川上住民課長 国の制度で定額補助となっておりこの額となった。

入江町長 国の施策で地方の負担が嵩(かさ)むものは、しっかりと要望してまいりたい。



令和元年11月22日、仮オープンした182ステーション産直売り場

一般質問

1) 入江町政3年間の総括と今後の展望

入江町長が就任され3年間の経過しました。

来年度予算編成へ向けての意気込みと、JIN(神)プレミアム事業の①高付加価値農業振興と②地域活性化チャレンジ事業について、事業経過と今後の展望を伺う。

2) 統一基準による地方公会計における本町の公開

本町では、平成29年度決算について統一的な基準による地方公会計に基づいた財務4表を公開された。

これは、複式簿記・発生主義会計の導入と、一般会計などと各種特別会計及び関係団体を連結した財務書類を整備するものである。

平成29年度の数値ではありますが、この財務4表の数値を用いての本町の財務状況について分析されている。

分析の結果と、それを今後の財政運用にどの様に生かされるのか。

◎総括と今後の展望は

町長 3年間の経過し、いろいろな新しい芽が芽吹き始め何か変化が起きていると感じている。

この変化が波となり「挑戦できる。行ってみたい。住みたい。住んで良かった」と言える「町」にしたい。

令和2年度は「明日への一歩」と題し、「次の世代へ引き継ぐ」ための予算としたい。

①道の駅のリニューアルは、本年度末3月にオープンを迎える。新設置のフードコートでは、地元産品を原料に加工・調理することで超高付加価値を付け販売強化を図りたい。

本町の農産物の良さを「JINプレミアム」という名でブランド化を図り、より一層広めた。

②ビジネスコンテストは、3年間で17件の提案があり一定の成果があった。

一般財団法人「チャレンジ基金」に本事業を移管し計画・審査・支援を一体的に行うと、より起業の掘起しにつながる。

チャレンジ基金は、設立以降6件、5500万円を支援中だ。今後も本町内での創業や企業が多角化しやすい環境を整え、本町産業の発展に寄与したい。

まるごとっぽんは、関東圏への情報発信は一定の成果があったが、物販においては不十分との指摘があった。

今後は、原点に立ち返り再検討したい。

木野山 第2期総合戦略では、社会増人口の目標値を年80人から0人としている。政策の変更を伴うが、何故か。

町長 現実には連続して年10人を超える社会減となっておりそれを0人とした。満足しないが現実的・積極的な目標値だ。

木野山 経済的活性化には、循環型社会の形成が重要だ。どう理解されているか。

町長 地域で色々な物の循環が理想だ。そのためには、地域での消費を喚起する魅力づくりが必要だ。それを支援したい。

木野山 地域を守ってきた人、受け継いできた人への支援が必要だ。「行ってみたい」「住みた

い」の前にすべきではないか。地元が頑張っている芽を摘まない視点が大事ではないか。

町長 来年度予算は「住んで良かった」という事をしっかりとアピールし、外から来てもらう。という様に手法・方法を変えて取り組みたい。

木野山 地元へ帰ってくる人への支援は。

町長 どう支援したら帰ってこられるかも含め方策を探りたい。

◎統一基準による地方公会計

町長 特徴として、全国の類似団体と比べ、

①有形固定資産減価償却率が高い。

②住民一人当たりの負債額が大きい。

③行政コスト対税込等比率が高い。

①からは、老朽化した施設が多いこと。また、②③からは自主財源が少なく起債などに頼った財政運営を行わざるを得ない現状が表れている。

資産の更新では、将来世代の負担が著しく悪化することが懸念

される。

施設の統廃合を進め、世代間の公平性や財政の健全化を含めた計画的な維持管理が必要だ。

木野山 公会計公表で分かる事は行財政コストを財源で賄っていない事だ。平成30年度はどうなるかわからないが、平成29年度は6〜7億円のマイナスとなっている。どう分析されるか。

前牧野町長も言われていたが、財政力指数が小さい事が本町の特色である。このことを忘れて、大変なことになる。この事を加味しながら、今後の財政運営に生かして頂きたい。



まちおこしを目的に結成し、16年目を迎えたやまなみ劇団 第16回定期公演 (令和元年11月17日)